

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和5年 6月23日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 7月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

～ こだます元気な声！ 藤塚小学校 ～

校長 出口栄生

梅雨の季節となりました。私はいま「学校だより」の原稿を書いているところですが、雨が降り出してきました。気温が暑くなる日も続いているようですが、「熱中症」に気をつけながら、日々、子どもたちを見守っていきたいと思います。

さて、先月は、6年生が日光修学旅行に、そして今月は、4年生・5年生が御殿場へ宿泊体験学習に行っていました。子どもたちは、とてもこの日を楽しみにしており、事前準備なども含め、有意義であったと考えます。

梅雨の季節であっても、どの子ども梅雨空を吹き飛ばすくらい「笑顔」での参加は、それだけ子どもたちの「人格の成長」につながったと思います。

こだます元気な声。この光景こそが学校生活に必要であり、クラスを明るくする原動力です。

6年生は6月27日、国会見学です。日本の政治の中心を訪れ、この機会に大いに本物に触れてほしいと思います。

ご存じのとおり、公職選挙法が改正され、18歳で選挙権が与えられることとなりました。我が国のみならず、他国の政治にも関心を持ち、主権者として活躍してほしいと願います。

ところで、最近、東京都にある「初等教育発祥の地」を訪れました。明治時代、産業の発展を目指し、初等教育に時の政府は力を注ぎました。その後、我が国は、アジアで初めて最初の憲法（明治憲法）を1889年2月11日に公布し、その後、先進諸国の仲間入りを果たすのです。江戸時代後期、寺子屋の影響で日本の識字率はとても高かったことも関係したのかもしれませんが。

産業の発達も大切ですが、それを支える教育・学びはもっと大切なことを示しているように思います。今こそ、初等教育の原点に戻り、校外学習等通じて子どもたちの人格を高めてまいりたいと考えます。

初等教育発祥の地。私もその当時の人々の教育に対する想いをはせ、子どもたちのこだます元気な声を大切に、成長を見守っていきたいと思います。